平和友好条約締結40周年　中国特集

魅力的な中国の世界遺産

広大な国土に展開する52の遺産群

昨年は日本と中国の国交正常化45周年。そして今年は両国の平和友好条約締結40周年だ。記念の年が続き、両国ではさまざまな記念事業が行われている。平和友好条約締結40周年中国特集。今回は国内に52カ所とアジア1、世界でもイタリアに次ぐ2番目の数を誇る中国の世界遺産に焦点を当てた。「山」「水」「建築物」「彫刻」と四つのカテゴリーで魅力の一端を紹介する。

美丽中国—2018全域旅游年
Beautiful China — Year of Integrated Tourism 2018

山

仏教の聖地、特異な景観

●泰山（山東省）
秦の始皇帝や前漢の武帝ら歴代の皇帝が、天地をまつる儀式「封禅」を執り行ったという荘厳で神聖な山。道教の聖地で、同様に聖地と崇められる他の四つの山とともに「五岳」と称される。山頂の玉皇頂まで7千段の階段が続くが、今はロープウエーが整備されている。（1987年、世界複合遺産登録）

●武陵源（湖南省）
3千本以上の石柱がそびえる壮大なカルストの奇観。珪岩でできた石柱は多くが高さ200㍍、高いもので300㍍にもなる。（1992年、世界自然遺産登録）

●廬山（江西省）
多くの峰や断崖絶壁、瀑布がある地質構造が複雑な山で、仏教、道教、イスラム教、カトリックの寺院、廟、教会が山頂に共存する。古くからの避暑地としても知られる。（1996年、世界文化遺産登録）

●峨眉山（四川省）
五台山、普陀山、九華山と並ぶ中国仏教の聖地。山頂近く、標高3077㍍の金頂にある華蔵寺をはじめ、後漢時代から建造された多くの仏教施設がある。（1996年、世界複合遺産登録）

●三清山（江西省）
懐玉山脈の玉京峰、玉虚峰、玉華峰の三つの峰の総称。奇岩がそびえる景観とともに、道教の聖地として知られ、三つの峰が3人の神様のように崇められている。（2008年、世界自然遺産登録）

●中国丹霞（広東省、福建省、江西省、湖南省、浙江省、貴州省など）
丹霞とは、地面の隆起や風化、雨水の浸食で形成された赤い砂れき岩の特異な地形、景観の総称。中国国内の各地で見られる。（2010年、世界自然遺産登録）

中国丹霞（貴州省・赤水丹霞）

武陵源

廬山

三清山

水

癒やしの散策スポット

●黄龍（四川省）
海抜3千㍍の高原湿地。全長7・5㌔の峡谷、黄龍溝の奥に位置する五彩池は、石灰華でできた池が棚田状に連なり、光の加減で水面が美しく輝く。（1992年、世界自然遺産登録）

●九寨溝（四川省）
標高2千～4300㍍の高地にある峡谷。118の湖沼、17の瀑布をはじめ、変化に富んだ景色が広がる。この中の五花海は海子と呼ばれる堰止湖で、湖底に沈む石灰質や植物、光の加減でエメラルド、緑、青とカラフルな色を呈する。（1992年、世界自然遺産登録）

●武夷山（福建省）
武夷山脈と九曲渓の美しい景色を峰から望む。九曲渓は山脈の麓を流れる渓流。約9・5㌔の長さで大きく湾曲する部分が九つあることからこの名が付いた。竹のいかだによる川下りが名物。南宋代の儒学者で、朱子学の創始者、朱熹が少年期と40代以降の約50年間過ごした場所でもある。（1999年、世界複合遺産登録）

●都江堰（四川省）
成都平原の西部、岷江中流にある水利施設。今から2200年前、中国の戦国期に建造された世界で最も古く、唯一保存されているダムのない水利施設。川の氾濫を防ぐため、蜀郡の太守・李氷とその息子・李二郎が多くの人手を使い、建造したとされる。景勝地であるとともに、その建造技術の高さに驚く専門家も多い。（2000年、世界文化遺産登録）

●杭州西湖（浙江省）
杭州西郊にある周囲約15㌔の湖。市街地に近く、風光明媚で散策路が整備されている癒やしのスポット。湖に浮かぶ小島「三潭印月」は1元札の裏面にもデザインされている。この三潭印月など10カ所の絶景ポイントは西湖十景と呼ばれている。（2011年、世界文化遺産登録）

●紅河ハニ棚田群（雲南省）
少数民族のハニ族が1300年の長きにわたり造成、維持してきた世界最大規模の棚田群。（2013年、世界文化遺産登録）

●新疆天山（新疆ウイグル自治区）
国境地帯に連なる天山山脈の中国側の四つの自然保護区で構成。万年雪を抱く山々や氷河、湖「天地」と雄大な景観が広がる。（2013年、世界自然遺産登録）

●神農架（湖北省）
温帯と亜熱帯の接点にある原生林で、さまざまな種類の樹木が茂る。希少動物の宝庫で、孫悟空のモデルとされるキンシコウも生息する。（2016年、世界自然遺産登録）

九寨溝

紅河ハニ棚田群

新疆天山

中国の世界遺産一覧

泰山▽万里の長城▽北京と瀋陽の明・清朝の皇宮群▽莫高窟▽秦の始皇陵▽周口店の北京原人遺跡▽黄山▽九寨溝の渓谷の景観と歴史地域▽黄龍の景観と歴史地域▽武陵源の自然景観と歴史地域▽承徳の避暑山荘と外八廟▽曲阜の孔廟、孔林、孔府▽武当山の古代建築物群▽ラサのポタラ宮歴史地区▽廬山国立公園▽峨眉山と楽山大仏▽麗江旧市街▽古都平遥▽蘇州古典園林▽頤和園、北京の皇帝の庭園▽天壇、北京の皇帝の廟壇▽武夷山▽大足石刻▽青城山と都江堰水利（灌漑）施設▽安徽南部の古村落―西逓・宏村▽龍門石窟▽明・清朝の皇帝陵墓群▽雲崗石窟▽雲南三江併流の保護地域群▽古代高句麗王国の首都と古墳群▽マカオ歴史地区▽殷墟▽四川ジャイアントパンダ保護区群▽開平の望楼群と村落▽中国南方カルスト▽福建の土楼▽三清山国立公園▽五台山▽河南登封の文化財〝天地之中〟▽中国丹霞▽杭州西湖の文化的景観▽澄江の化石山地▽上都（ザナドゥ）の遺跡▽紅河ハニ棚田群の文化的景観▽新疆天山▽シルクロード・長安―天山回廊の交易路網▽中国大運河▽土司の遺跡群▽湖北省の神農架▽左江花山のロック・アートの文化的景観▽歴史的共同租界、鼓浪嶼▽青海可可西里

万里の長城

建築物

古代中国の面影を残す

●北京故宮（北京市）
紫禁城とも呼ばれる北京故宮は明の時代の1406年から14年の歳月をかけて完成。以来、24人の皇帝がここで即位し政治を行った。総面積78万平方㍍。9千室の部屋がある巨大な建築群。（1987年、世界文化遺産登録）

●万里の長城（河北省、北京市、内蒙古自治区、山西省、陜西省、寧夏回族自治区、甘粛省など）
紀元前220年、秦の始皇帝がより早い時代に造られていた防御施設を一つにつなげ、北方からの侵略に備える長城として整備。明代までに増築され、今の姿になった。近年、全長が2万1196㌔と発表された。（1987年、世界文化遺産登録）

●ポタラ宮（チベット自治区）
チベット仏教の総本山。7世紀に当時のダライラマの宮殿として建設された。標高3700㍍の紅山の斜面から頂上にかけて建つ。ダライラマの日常生活場所「白宮」、歴代ダライラマの霊塔殿「赤宮」、付属建築からなる。（1994年、世界文化遺産登録）

●武当山（湖北省）
山中に建築された道教の古代建築群。麓から山頂までの70㌔に元明清代の8宮36庵72廟がある。紫霄宮は1413年の建立当時の状態を保存した貴重な建築物。主峰頂上の金殿は銅でできた武当山のシンボル的道教建築。（1994年、世界文化遺産登録）

●平遥古城（山西省）
14世紀の明代に建築された周囲6・4㌔の城壁と、それに囲まれた古い街並み。他の都市の城壁はほぼ撤去されてしまったが、ここはほぼ完璧な形で保存されている。（1997年、世界文化遺産登録）

●天壇（北京市）
明代の1420年建築。明清両王朝の皇帝が天地の神をまつり、豊作を祈った場所。中国古代の宇宙観に基づく、厳格な規則に則って配置された数多くの建築物がある。（1998年、世界文化遺産登録）

●宏村鎮（安徽省）
今ではほとんど見られなくなった中国の古代農村の面影を残す村。明清時代の旧建築物137棟が現存。道の様式や建築、給水システムなど昔のインフラが残っている。（2000年、世界文化遺産登録）

●開平楼閣（広東省）
開平の町に立ち並ぶ高層楼閣群。海外で成功した華僑が賊や水害から財産を守るため、中洋混合式の立派な楼閣を建築した。縦横数十㌔にわたり、独特の景観をなしている。（2007年、世界文化遺産登録）

●福建土楼（福建省）
福建省西部と南部に点在する独自のスタイルの民家建築。地震や火災、外敵の襲来に備えた円形や長方形の、簡単な幾何学模様の建築物。（2008年、世界文化遺産登録）

●鼓浪嶼（コロンス島）（福建省）
アモイ市中心の南西500㍍にある面積1・8平方㌔の小島。アヘン戦争、南京条約を機に共同租界地として、世界各国の領事館や教会など西洋建築が置かれた。世界で財を成した華僑の別荘地ともなり、千軒以上の西洋建築が島内に残る。（2017年、世界文化遺産登録）

ポタラ宮

平遥古城

福建土楼

彫刻

千年の歴史感じる遺構

●黄山（安徽省）
72の峰が林立する美しい山で、岩に生える奇松、雲海に浮き出る怪石の景色で知られる。水墨画のような風景と人気。（1990年、世界複合遺産登録）

●楽山大仏（四川省）
岷江に面した断崖に彫られた高さ71㍍の、世界に現存する最も大きな石刻仏像。唐の時代、凌雲寺の僧・海通が川の水害をしずめるために建造したとされる。大仏は岷江と大渡河、青衣江が合流する、川の氾濫が起きやすい場所に造られた。713年から90年の歳月をかけて、803年に完成した。（1996年、世界複合遺産登録）

●大足石刻（重慶市）
重慶市の中心から西へ170㌔の大足区にある。唐代初期から宋代にかけて、仏教を中心とした宗教関連の石刻が岩壁に彫られた。70カ所以上で5万体を超す造像が残されている。代表的なのは北山、宝頂山の各石刻群。（1999年、世界文化遺産登録）

●龍門石窟（河南省）
北魏時代から北宋時代までの400年にわたり造営が進められた。西山、東山の両山肌に大小2340余の石窟、仏塔70余基、造像10万余体がある。西山の奉先寺石窟は長さ、幅ともおよそ30㍍と最も規模が大きく、中の盧遮那仏は高さ17・14㍍の巨大な像。（2000年、世界文化遺産登録）

●雲崗石窟（山西省）
武周山の岩肌、東西1㌔にわたり彫られた石窟群。現存する石窟は252窟、仏像は大小5万体を超す。1500年以上の歴史があり、代表的なのは第20番石窟の座仏像。高さ13・75㍍の、北魏の皇帝をモデルにした巨大な如来像。（2001年、世界文化遺産登録）

楽山大仏

大足石刻

雲崗石窟

龍門石窟

中国国家観光局駐日本代表処